

● 広報

おくび



2025

3

No. 845

雪上での熱戦 - 白い森ウィンタースポーツ大会 -

2月16日、横根スキー場を会場に白い森ウィンタースポーツ大会が6年ぶりに開催され、町民227人が参加しました。今大会ではレクリエーション種目が一新され、スノー・タワー競争と雪上綱引きが実施されました。

雪上綱引きでは、出場選手たちが足を滑らせながらも綱を引き合い、白熱した対戦が繰り広げられていました。

白い森ローカルビジネス創出塾 第6期生プラン発表会

町では、小国の優れた地域資源等を活用しながら、小国ならではの多様なビジネスを創造し、その実現に向けたチャレンジを支援するため、白い森ローカルビジネス創出塾を開催しています。今年度で6年目となるこの事業は、小国の新しい目玉商品を作りたい、自分のアイデアをどう形にしたらいいかわからないといったかたを、起業や商品開発の専門家が伴走支援して事業化を目指していくもので、今回は2人のかたが事業化に向けて取り組みました。

2月13日にはカモスクにおいて、各自のプランを発表する事業成果発表会を開催しました。前段には「AIツールを使って時短・事業成果を加速させよう」というテーマで、中小企業診断士でコンサルタントの中山洋平さんにお話いただき、キャッチコピーやイメージ画像を作る際にAIツールを活用する方法や注意点、簡単な使い方などを紹介いただきました。その後、参加者2人がプランの発表を行いました。

参加者の中村さんは、自身が台湾の大学で学生生活を送った経験を活かし、小国の自然、特に雪を売りにして台湾から観光に来てもらいたいと考え、飯豊町で実施されているインバウンドの取り組みのお手伝いに

行っていること等を発表してくれました。

同じく参加者の山口さんのプランは、叶水地域で雑穀の農作業体験やゲストハウスでの宿泊を受け入れることで、若い世代を含めた地域住民主体の地域づくりを目指すというもので、来年度からの具体的なスケジュールも示されました。

町としても、お二人のプランが実現され、地域に活気をもたらしてくれることを期待しています。

へ第6期生と発表テーマ

■中村史龍さん 「小国に台湾インバウンドを呼び込みたい！」

■山口ひとみさん 「叶水雑穀の里構想」



森林サービス産業 企業向けセミナーを開催しました！

森林サービス産業の創出に向け、小国町の森林セラピー基地をはじめとした森林資源にはどのような医学的効果があるのか、そして企業はどのように森を活用しているのかなどを紹介するセミナーを、仙台・新潟・東京の3会場で開催しました。

企業担当者だけでなく森や森林浴に関心のあるかたにもご参加いただき、本町の概要や魅力、おすすめの滞在プログラムについても紹介させていただきました。

来場者からは、「小国の森やその医学的効果について勉強になった」「ぜひ小国に行って、森林セラピーを体験してみたい」といった声が聞かれました。今後は、さらに多くのかたに白い森での癒し効果を体感してもらえよう、タイムリーな情報発信や普及啓発などに取り組んでいきます。



▲セミナーの様子

協力隊通信

series 105

「ありがとうございました！」

地域おこし協力隊 ^{なかはら りょう} 中原 凌

お久しぶりです！今年度は1人で作業していることが多く、皆さんと顔を合わせる機会が少なくなっていました。元気に活動しております！

そして、5年間書いてきた協力隊通信も今回で最後となります。たくさん書きたいことがありますが、ここでは書ききれないので手短にします。来年度も小国町に残ります！

緑のふるさと協力隊1年間、任的特例期間含め地域おこし協力隊として4年間活動してきました。活動の中では様々な場面で皆さんにたくさんお世話になりました。



また、千葉にいた時には感じる事ができなかった地域コミュニティの強さ、相互扶助の精神、子供たちの成長などが、僕が引き続き小国町に残る大きなきっかけとなりました。協力隊ではなく、今まで通りとはいきませんが、ちがう形で皆さんに関わっていければと思います！

最後にはなりますが、東部地区の皆さん、仕事から日常生活までお世話になりました！

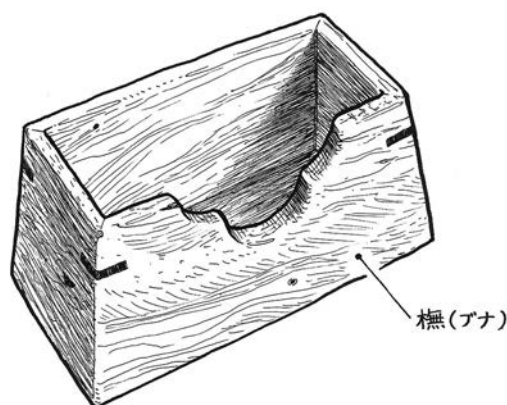
来年度からもよろしくお願いします！

「行けるようになったから」

地域おこし協力隊 ^{きたかぜ ひろき} 北風 裕基

役場から「おぐにまち歩きマップ」を設置するスタンドの作製を依頼されたので、小国らしくブナで作ってみました。生えてる時は白い肌が美しいですが、切ってみると（小国のブナにはしょっちゅう！）変わった模様が現れます。

白や黄色、グレーだったり桃色もあり、虫食いやスポルテッドと呼ばれる黒い線、節なんか加わると表情は多様で、なぜだかついこの木が小国のどこかに生えていた頃の姿を想像します。木はどこにでも使われていて身近だけど、それが何十年もかかって成長し、たまたま切られてそのあとどうなるって誰だって日頃から考えることではありません。これは等身大だと思うんです。地面と足がかなり近いんじゃないかと思う。より近づけるために身につけたいというのが、ここに住む理由の一つなんだと思います。



榿(ブナ)

豊かな地域資源を活用した観光・交流

本町ではこれまで、豊かな自然資源や特色ある文化を活用し、多様な観光・交流を展開してきました。

しかし、近年、価値観の多様化による消費者ニーズの変化や、コロナ禍の影響を受けた旅行の短期化、旅行先の近距離化、増加するインバウンド旅行者の受け入れなど、対応すべき課題が増えていきます。

今回は本町で取り組まれている観光・交流事業の状況や、新たな取り組みについて紹介するとともに、今後の観光・交流推進の方向について考えます。

変化する観光需要

近年、価値観の多様化やコロナ禍の影響等により、旅行や観光に対する消費者ニーズに変化が生じています。

地域の資源や文化を体験できる体験型観光の需要が高まっており、またインバウンド需要回復による訪日外国人観光客への対応の必要性も増しています。

国では令和5年に第4次観光立国推進基本計画を策定し、「持続可能な観光」「消費

額拡大」「地方誘客促進」をキーワードにより魅力的な観光地域づくりやインバウンド回復、国内交流拡大に取り組んでいます。

本町でも、第5次小国町総合計画基本計画（令和2年策定）において、指針の一つである「白い森を舞台とする生き生きとした『暮らし』づくり」を実現するため、観光振興を図るとともに、地域資源を活かした産業と新たな観光の創生に取り組むこととしており、多様な観光・交流事業を展開しています。

「小国ならではの」体験を通じてファンを獲得する

本町では、これまでも伝統文化や自然環境等を観光・交流に活かしてきました。

例えば、横川ダムの白い森おぐに湖におけるワカサギ釣りもその一つです。シーズンになると近隣市町や新潟県、福島県などから多くの釣り客が訪れ、中には10年以上通っているリピーターのかたもあり、冬の小国を代表するアクティビティとなっています。

小国町漁業協同組合では、

湖面の状況や釣果の情報発信、稚魚の放流を行うとともに、初心者向けの体験会等も実施しています。この取り組みが小国を何度も訪れてくれるファンの増加にもつながっています。

小国の冬の手仕事であった「つる細工」を活用したプログラムも人気があります。本町では、昭和50年代からつる細工の技術向上やつる細工愛好家同士の交流を目的としたつる細工講習会を開催しており、今年で42回目となりました。全国各地から参加者が集



▲好天にはワカサギ釣りのテントが多く立ち並び



▲交流を楽しみながらつる細工に取り組む

まり、つる細工の技術向上や新たなアイディア習得等に力を注ぐとともに、小国の雪や食、温泉、町民との交流を大いに楽しんでいます。この事業の参加者はリピーターが多く、何十年も通い続けているかたもいます。

令和5年からつる細工講習会に参加している新潟県在住の参加者は「元々、手仕事に興味を持っており、つる細工に挑戦したいと思っていたところ、知り合いのかたにすめられ参加しました。つる細工は自然のものを使って行う

工芸なので、やってみたくて思ってもすぐに体験できることではありません。この講習会では技術を身につけると同時に、ベテランから初心者のかたまで様々な人と交流でき、楽しくつる細工に取り組むことができるため何度も参加しています」とリピーターになった理由を話してくれました。

また、「雪の学校」にも町外のかたが参加します。

これは独自の信仰や技を受け継ぎながら、山とともに生きてきた地元のマタギを先生に、小国の動植物や狩猟について学ぶとともに、地域に根づいた文化を体験できるプログラムです。平成8年から始まり、白い森交流センターふれの冬期間の集客と地域の活性化も目的としています。

かんじきを履いて、雪山トレッキングを行い、雪面に残された動物の足跡を探したり、小正月の伝統行事である

さいず焼きを再現した火まつりを体験したりと、参加者からはとても好評です。

雪の学校三代目校長の齋藤重美さんは参加者について「登山や自然が好きなかた、雪を体験したいというかたが参加してくれています。開始

雪の学校に参加している中野健太郎さん、朔馬さん親子（東京都）

■中野健太郎さん

小国町の知り合いの紹介で平成28年に初めて参加しました。関東では雪を体験できないこともあり、家族が冬の小国町をとっても楽しんでくれたので、そこから何度も参加しています。また、子どもの保育園の友だちが小国町に行ってみたくてくれ、その家族と一緒に参加するようになりました。その家族は自分たち家族が来られなかった年にも参加しており、リピーターになっています。来年には下の子どもを連れていけるようになると思うので、また家族で参加したいと考えています。

■中野朔馬さん

昨年、コロナが明けて、久しぶりに雪の学校に参加しました。初めて参加した時よりも体力もつき、山頂から見える景色も以前とは違って見えました。初めて参加した時は保育園だったので、小国町に対して雪がすごかったという印象しかありませんでしたが、昨年参加した際には、大雪に備えた住宅や東京にはない食文化に興味深く、印象に残りました。これから高校生、大学生になり数年後には社会に出ます。社会人になると自由に使える時間も少なくなるかもしれません。雪の学校に参加することは自分にとって貴重な体験になっているので、また参加していきたいです。



▲小国の雪を家族で楽しむ

から30年が経過し、参加者の顔ぶれも変わってきていますが、初回からずっと参加してくれているかたもいます。また、最近では海外のかたや過去の参加者からの紹介、ホームページを見て参加するかたが増えています。雪の学校を開

催すると、地域がにぎやかになり、活気づきます」と話してくださいました。

新たな取り組み

本町では、令和3年度より豊かな森林資源を活用して新たな産業を創出する森林サード産業推進事業に取り組んでおり、企業を対象としたニーズ調査や地域資源の掘り起こし、モニターツアーなどを実施し、企業の福利厚生や研修向けのプログラムづくりを進めてきました。



▲山頂から小国の冬の景色を楽しむ雪の学校参加者

企業向けのプログラムでは、小国町でしかできない体験で、かつ企業にとって意義がある内容として組み立てることが重要であるため、企業の目線に立ち、より魅力的に感じる「小国らしいプログラム」の商品化やお客様を迎えるための体制整備の検討を進めてきました。今年の2月には、東京、仙台、新潟で、森林セラピーや企業としての活用方法に関するセミナーを開催し、白い森の魅力を伝えてきました。

このほか、これまでの事業成果を活かし、新たな滞在型ツアープログラムを作成し、やまがたアルカディア観光局のWEBサイトで令和6年から販売しています。梅花皮荘に宿泊して森林セラピーを体験するプランなど、手ぶらでも小国町の自然や文化、郷土食などを気軽に楽しめる3つのプログラムを掲載しており、初めて本町を訪れるきっかけ

となることも期待されます。

民間事業者でも観光・交流を推進する新たな動きが生まれています。町内で活動する一般社団法人YOKAMOS（以下、「YOKAMOS」）では、令和3年度に環境省の補助を受け、ワーケーションプログラムの開発とガイド人材の発掘等を、令和6年度に観光庁の補助を受け「磐梯朝日国立公園サステナブルツーリズム実証プロジェクト」を実施しています。

今年1月には、本町の食材を使用した特別ディナーの提



▲YOKAMOS開催のモニターツアーの様子（ウサギ狩り体験）

供や酒蔵の見学、マタギの案内によるウサギ狩り体験、団子づくりやさいず焼きといった伝統行事の体験など小国の魅力満載のモニターツアーを実施し、ツアー参加者からは「小国らしさを感じた」や「地域のかたと交流し、小国町ならではの体験ができた」といった感想が聞かれ、とても好評でした。

今後の展開についてYOKAMOSの常務理事である村上友梨さんは「ツアー実施によつて地域にお金がまわるよう、小国ならではの体験を収益化することが今後の課題だと考えています。インバウンド需要も含め、四季折々の小国町を楽しめるよう夏や秋冬他シーズンのプログラムを作成し、事業を展開していきたいです」と話してくれました。今後、モニターツアーの結果を基にプログラムを磨き上げ、国内外に向けての販売を予定しています。

町民目線で魅力を発信

今年1月、町中心部の観光スポットや店舗、観光や町内での生活に役立つ情報等を掲載したまち歩きマップが完成しました。これは、町と(株)扶桑社（東京都港区）が連携して実施した事業であり、年齢や属性が異なる町内在住の制作メンバーが、実際に町を歩き、町民目線で観光客や移住者におすすめしたいスポットや店舗等の情報を選び、自ら取材なども行なってマップ化し



▲まち歩きマップ作成の様子

たもので、JR小国駅や役場、道の駅など町内各所に設置しています。

作成メンバーの一人である遠藤桃代さん（大宮）にマップの作成から完成までのお話をうかがいました。

「私自身が移住者であるため、まだ知らぬ小国町の良さを知りたいと思い制作メンバーに加わりました。

まち歩きでは、『こんな素敵なお店があったのか！』と発見の連続でした。例えば、横川ダムへ訪れた際、子どもが喜びそうな遊べるスペースが設置されてあったりと、行かなければ知ることができなかった素敵なスポットがたくさんありました。

まち歩きマップは初めて小国町を訪れるかたはもちろんのこと、町民のかたにもぜひ手に取っていただきたいです！そして私のように移住されたかたや、移住を検討しているかたなどたくさんのか

たがたに利用していただき、様々なおすすめスポットへ足を運んで発信していただけたら嬉しいと思います」

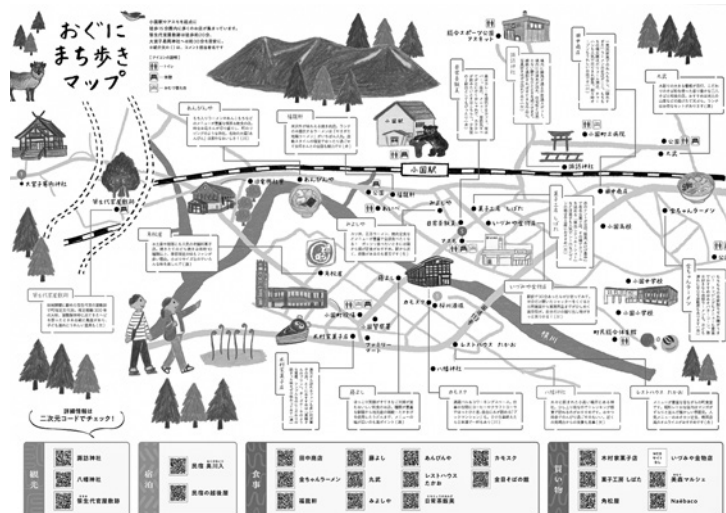
「選ばれる町」を目指す

令和6年版観光白書によると世界の旅行者の傾向として、持続可能な観光や地域貢献を重要視する機運が高まっているのに加えて、あまり知られていない魅力ある地域への訪問ニーズや、その地域ならではの体験に対する関心が高くなっています。このような傾向は、豊かな自然環境やそれらによって育まれてきた独自の文化を持つ本町にとって、誘客を拡大する大きなチャンスと言えます。

町ではこれからも地域資源を活用した観光・交流の促進、開発に取り組むとともに、関係機関と連携し、「選ばれる町」を目指していきます。

まち歩きマップの

ダウンロードはこちらから↓





高校生が大活躍

高校生除雪ボランティア活動

1月31日、高校生除雪ボランティア活動が実施され、小国高校生や小国町社会福祉協議会、民生委員など13人が町内高齢者宅等の除雪を行いました。

ボランティアに参加した小国高校1年の原田亘さん（東京都出身）は「思っていた以上に大変な作業でしたが、地元では体験できないことなので、貴重な経験になりました」と除雪作業の感想を話してくれました。



町内産木材の家具を贈呈

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式を2月1日、おぐに開発総合センターで開催しました。これは幼い頃から町内産木材と触れあうことにより地元への愛着を深め、木育を推進することを目的に実施しており、今年度の対象者17人のうち当日は11家族が出席しました。

贈呈した家具は、おもちゃやお菓子を入れて遊べる収納家具の「すぽっと」で、自分の名前が入った家具を町長から受け取った子どもたちが、さっそく遊ぶ姿もみられました。

たくさん釣れたよ

叶水小学校自然体験活動「わかさぎ釣り体験」

2月4日、横川ダムの白い森おぐに湖で、叶水小学校自然体験活動「わかさぎ釣り体験」が行われました。

1年生から6年生までの児童18人が参加し、小国町漁業協同組合のかたがたから、ワカサギの釣り方を教わりつつ、湖面に積もった雪にあけた穴に釣り糸を垂らしていました。この日、釣れたワカサギは子どもたちが各家庭に持ち帰り、美味しくいただいたとのこと。



雪の森のようちえん

冬の森で遊ぶ

2月11日、おぐにふるさと文化館「百石」を会場に「雪の森のようちえん」（白い森学習支援センター主催）が開催され、親子13人が参加しました。

参加者は雪のなかに隠されたお菓子を探す宝探しや、森の中でビンゴカードに書いてある自然のものを探すフィールドビンゴに挑戦しました。さらに、動物の足跡や変わった木の枝などを探しながら雪の上を元気に遊び回り、楽しく過ごしました。



小国高校生が模擬選挙を体験

選挙啓発出前講座を開催

選挙制度や選挙についての理解を深め、模擬投票を通じて、投票することの大切さを伝える選挙啓発出前講座が、2月7日に小国高校で行われ、2年生26人が参加しました。

講座では、選挙制度について説明を受けた後、実際の投票と同じ流れで模擬投票が行われ、体験した高校生からは「同じ名前の候補者が複数いて、名前だけ書かれた票があった場合どうなるのか」といった質問や「18歳になったら、地域の一員として選挙に参加したい」といった感想が聞かれました。



地域学講座

米坂線の移り変わりと保線の思い出

2月15日、教育委員会主催地域学講座「米坂線の移り変わりと保線の思い出」がおぐに開発総合センターで開催されました。

東日本鉄道OB会新潟地方本部小国支部長の井上正美さん（綱木箱口）に、米坂線の懐かしい風景や保線作業の思い出等をお話いただきました。参加者は、普段あまり聞くことのできない保線作業の苦労話を知るとともに、暮らしを支えてきた米坂線の役割について理解を深めました。



令和6年度 白い森ウィンタースポーツ大会

2月16日、横根スキー場を会場に白い森ウィンタースポーツ大会が開催され、多くの町民のかたが参加しました。

大会は、各地区のスポーツ協会による対抗戦形式で進められ、スキーやスノーボードによるジャイアントスラロームのほか、雪上綱引きや雪をどれだけ積み上げられるかを競うスノー・タワー競争といったレクリエーション種目が行われました。

6年ぶりの開催となった今大会は、熱戦の末、町岩東地区が優勝しました。

■順位 優勝：町岩東地区 準優勝：南部地区・沖庭地区（同率2位）



全国大会出場選手に激励金を交付

創学館高校2年の保科優斗さん（黒沢）がJB会長杯第40回全日本年齢別ボウリング選手権大会に出場することに伴い、2月3日に激励金交付式が行われました。大会に向けて保科さんは「決勝に残れるよう、全力を出したいです」と意気込みを語ってくれました。

2月7日から東京都の品川プリンスホテルボウリングセンターで開催された同大会では、日頃の成果を発揮し、素晴らしい試合を繰り広げました。



小国町スポーツ協会表彰式・小国町スポーツ講演会を開催

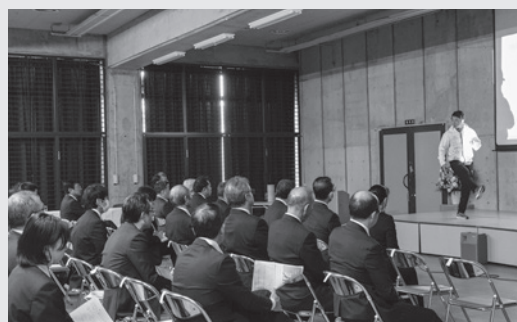
1月25日、小国町スポーツ協会表彰式が開催され、町内外で活躍した選手や団体、指導者等73人が表彰を受けました。受賞者代表あいさつでは、昨年マレーシアで開催された「第3回NHDPミルナワンカップ」にホッケーU17女子ユース日本代表の一人として出場した齋藤愛佳さん（米沢商業高校2年）が「現状に満足せず、将来さくらジャパンに選出されるよう、両親や指導者、応援してくださるかたがたへの感謝を忘れずにプレーしていきます」と今後の抱負を語ってくれました。

表彰式終了後には小国町スポーツ講演会を開催し、本町在住のコンディショニングトレーナーである飯沢芳明さん（増岡）を講師に、「スポーツパフォーマンスアップのためのコンディショニング」についてご講演いただきました。

参加者は実際に身体を動かしながら、ベストパフォーマンスを発揮するためのコンディショニングや身体のセルフケア方法などについて理解を深めました。



▲スポーツ協会表彰式受賞者代表あいさつ



▲スポーツ講演会の様子

広告

①製造オペレーター ②R&Dエンジニア ※正社員

【事業】 製造業 【半導体産業に欠かせない高品質な「石英つぼ」を製造し、世界に貢献している会社です】

【職種】 ①製造オペレーター(高卒以上) ②R&Dエンジニア(高専・大卒以上、技術開発等の経験者)

【待遇】 社保完備、昇給(4月)、固定賞与(6月・12月)※別に業績賞与あり(4月)、通勤手当実費支給(上限あり)、借上げ社宅制度あり、その他

【休日】 年間休日125日(勤務カレンダーによる)

＊メールにてお気軽にお問合せください＊

①製造オペレーター

年棒 **2,880,000円～3,840,000円**

※深夜手当・交替手当・残業手当別途支給

【時間】(1)8:20～16:50 (2)16:20～翌0:50 (3)0:20～8:50 ※3交代制

②R&Dエンジニア

年棒 **4,000,000円～5,920,000円**

※残業手当別途支給

【時間】8:20～17:10

モメンティブ・テクノロジーズ・山形株式会社 小国工場

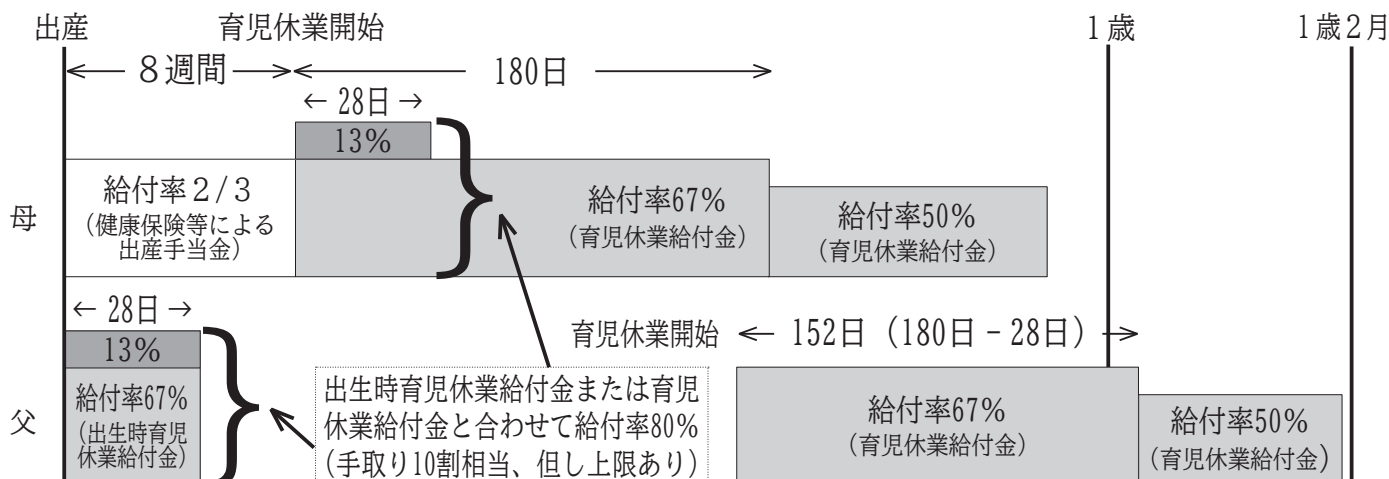
〒999-1351 山形県西置賜郡小国町大字小国町378

MOMENTIVE®
TECHNOLOGIES

☎0238-62-5919 ✉recruiting.jp@momentivetech.com 担当：三須・細川

出生後休業支援給付金の創設について

子どもの出生直後の一定期間に、両親ともに14日以上育児休業を取得した場合に、育児休業給付金と併せて手取り相当額が最大28日間支給される制度が始まります。詳細は厚生労働省のホームページを参照いただくか、各ハローワークへお問い合わせください。



■問合せ先 ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

3月11日は「県民防災デー（防災点検の日）」

山形県では、防災対策において大きな教訓となった東日本大震災が発生した3月11日を「県民防災デー（防災点検の日）」に定めています。地震や津波、豪雨など、災害はいつどこで起きても不思議ではありません。昨年7月25日からの大雨では、庄内・最上地域を中心に降り続いた記録的な大雨により、県内各地で甚大な被害を受けました。

災害による被害を最小限にとどめるためにも、この機会に、県民一人ひとりが防災について考えるとともに、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」の仕組みを確認し、ご自身や家族、地域、企業・団体それぞれが災害に備えましょう。

■問合せ先 山形県防災くらし安心部防災危機管理課防災係 (☎023-630-2231) へ

結核健康診断を受けましょう

結核は結核菌を吸い込むことで感染し、主に肺に炎症を起こす病気です。感染した人が実際に発症するのは1割から2割程度ですが、発病を見落とすと、周りの人に感染させてしまうリスクが高くなるため、早期に発見し治療することが必要です。自覚症状がなくても年に1度は健康診断（胸部レントゲン検査）を必ず受けましょう。

また、咳や痰、発熱などが2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。置賜総合支庁では、結核に関する職員出前講座も行っています。詳しくは下記までお問い合わせください。

■問合せ先 置賜総合支庁（置賜保健所）保健企画課感染症対策担当 (☎0238-22-3002) へ

確定申告の納付は振替納税

振替納税は、振替日に自動で預貯金口座から引落としとなり、便利です。初めて利用する場合には、納期限までに「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」を書面又はオンラインで提出する必要があります（翌年以降の提出は不要です）。

■申告期限・納期限

- ・所得税及び復興特別所得税 3月17日(月)まで
- ・消費税及び地方消費税 3月31日(月)まで

■振替日

- ・所得税及び復興特別所得税 4月23日(水)
- ・消費税及び地方消費税 4月30日(水)

※詳しくは国税庁HPをご覧ください。

■問合せ先 長井税務署 (☎0238-84-1810) へ

ふるさと奨学ローンのお知らせ

本ローン対象の生徒・学生が卒業後山形県内に就職または就業した場合は、それ以降の利子に対して最長10年間、元金300万円を限度に、年2.0%が補給されます。融資金利が2.0%を下回った場合は、融資金利が利子補給率になります。

■**使いみち** 教育費用や他金融機関の教育ローンの借り換えなど

■**融資金額** 最高2,000万円

■**融資金利**

変動金利・カード型（年1.70～2.60%）

固定金利・証貸型（年1.95～2.75%）

変動金利・証貸型（年1.85～2.25%）

※3月末までに申込み、実行する融資が対象です。

■**保証** 保証料は東北労働金庫が負担します。

■**申込・問合せ先**

東北労働金庫長井支店（☎0238-84-1100）へ

クアーズテックマシナリ株式会社がユースエール認定を受けました

「クアーズテックマシナリ株式会社（舟山広美代表取締役）」が、若者の採用や育成に積極的に雇用管理が優良な企業として、本町で初めてユースエール認定を受けました。1月31日、山形労働局にて認定式が行われ、認定通知書及び認定盾が授与されました。

※ユースエール認定制度とは、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。認定には、正社員離職率・月平均所定外労働時間・有給休暇の年間取得日数などの条件を満たす必要があります。



千代田クリーンセンター「くりえいと工房」再生品の提供

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び無償提供を行っています。

■**提供品**

自転車5～10台、家具類5点（各回予定数）

■**応募方法** 千代田クリーンセンターに備え付けの申込用紙により応募してください。応募する際に身分証明書が必要となります。複数応募があった場合、抽選により当選者を決定します。

■**時間** 9：00～16：00（土日祝日を除く）

■**料金** 無料（ただし1世帯1点まで）

■**問合せ先** 千代田クリーンセンター 施設第2係（☎0238-57-4004）へ

	展示期間	公開抽選
第1回	4月3日(木)～4月25日(金)	5月1日(木)
第2回	6月4日(木)～6月27日(金)	7月2日(木)
第3回	8月6日(木)～8月29日(金)	9月3日(木)
第4回	10月1日(木)～10月31日(金)	11月5日(木)

日頃から土砂災害に備えましょう！

県内で土砂災害が発生するおそれがある「土砂災害警戒区域」5,217か所に加えて、今後詳細な調査を行う予定の新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」約7,000か所を追加公表しました。

この機会にお住いの場所が該当するか確認し、土砂災害への「日頃の備え」をお願いします！



■**問合せ先** 山形県砂防・災害対策課（☎023-630-2635）へ

使って便利！楽しさいろいろ

山形県立図書館の電子書籍サービス

山形県立図書館では、パソコンやスマートフォンなどから24時間利用できる「電子書籍サービス」を提供しています。インターネットに接続できる環境であれば、いつでもどこでも利用可能です。ぜひご利用ください。



■**問合せ先** 山形県立図書館（☎023-631-2523）へ

令和7年第2回

小国町議会臨時会

令和7年第2回臨時会が1月31日に開催されました。令和6年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

1月14日付の専決処分の承認

12月中旬から年末にかけて冬型の気圧配置に伴う降雪が続いたことに加え、今後の積雪量の増加に備えるため、除排雪に要する経費5000万円を一般会計に追加する補正予算の専決処分が承認されました。

一般会計に5650万円を追加

一般会計に5650万円を追加し、補正後の予算総額は、86億9065万5千円となりました。

除排雪等に要する経費の追加

連日の降雪対応や重い雪質のため、除排雪作業の稼働日数が増え、2月以降も一定の降雪が予想されることから除排雪等に要する経費を追加しました。

町道高坂線高坂橋撤去に係る経費の追加

1月5日、雪の荷重により町道高坂線高坂橋のワイヤーが破断し、落橋していることが確認されました。河川管理者である山形県と協議し、今後、出水期を迎えると破損した部材が流出するおそれがあることから、早急に撤去することとし、所要の経費を追加しました。

令和7年第3回

小国町議会臨時会

令和7年第3回臨時会が2月19日に開催されました。令和6年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

一般会計に8210万円を追加

2月上旬からの断続的な降雪により除排雪作業の稼働日数が増え、2月下旬以降も一定の降雪が予想されることから除排雪等に要する経費を追加するほか、高齢者等暮らし応援事業の制度拡充に要する経費を増額しました。補正後の予算総額は、87億7275万5千円となりました。

山形県知事選挙の結果

吉村みえこ氏が再選

前回の選挙と比べ投票率が23・27ポイント下回る
1月26日、山形県知事選挙が行われ、現職の吉村氏が再選を果たしました。なお、当町における各候補者の得票結果は左のとおりです。

県全体の得票結果

(届出順)

吉村 みえこ 氏	318,364票
金山 屯 氏	17,794票
当日有権者数	864,892人
投票者数	343,098人
投票率	39.67%

町の得票結果

(届出順)

吉村 みえこ 氏	2,839票
金山 屯 氏	99票
当日有権者数	5,695人
投票者数	2,974人
投票率	52.22%

LINE公式アカウント

お友達募集中

「山形県小国町」

LINEの「お友達追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。



@shiroimori_oguni

「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、「山形県みどり環境交付金」を活用して森林と関わる様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くのかたを対象に、森林や林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。



森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れるかたがたが快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。令和6年度は、遊歩道内に設置している木製看板と木製ベンチを、新たに製作し設置しました。



▲環境整備の様子



▲木製ベンチ設置の様子

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

幼児や小学生を対象に、森林散策や町内に生息する生物の観察を通じて、森林環境や様々な動植物の特徴と役割について学びました。



▲町内の2～6歳児を対象とした「森のようちえん」



▲町内の小学生を対象とした「森の楽校」

白い森づくり体験事業

【森林体験学習】

町内の小学5年生を対象に、町の森林の概要や機能を学んだほか、植栽から主伐までの手入れの仕方を学びました。

【町民の森整備】

町民を対象として、森林体験活動に適した林地を整備する森林整備体験を行いました。



▲森林体験学習



▲町民の森整備の様子

森から拓く次代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



▲林業機械操作技術研修会の様子



■森林環境譲与税について

令和6年度から徴収が開始された森林環境税（国税）を財源とする森林環境譲与税を活用した町の事業については、町ホームページに詳しく掲載しております。併せてご覧ください。



お知らせ

町営住宅入居者募集

小坂町団地

3DK 4戸(1階2階4階)

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 3月10日(月)

◎入居時期 4月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431)へ

放送大学 4月入学生募集

放送大学は、BSテレビやインターネットを通じて学ぶ通信制の大学です。

心理学、福祉、経済、歴史、文学、情報、自然科学など幅広い分野が1科目から学べ、

学士(教養、看護学)の学位や認定心理士等の資格を取得することもできます。

■出願締切 3月11日(火)

■問合先 放送大学山形学習センター (☎023-64

6-88836)へ

やまがた合同企業説明会2026

【東京会場】

■日時 3月12日(水)～13日(木)

13時～16時

■場所 東京交通会館12階

カトレアサロン

■参加企業 140社程度

■対象 令和8年3月卒業予定の学生、既卒3年以内のかた、UIターン希望者

■問合先 県産業労働部雇用・産業人材育成課 (☎023-630-3265)へ

『やまがた縁結びたい』による結婚相談会

■日時 3月15日(土) 13時～16時45分

■場所 やまがたハッピーサポートセンター置賜支所(米沢市)

■対象 結婚を希望するかたまたはそのご家族(予約制)

■内容 婚活の仕方、お見合い相手の紹介などについての個別相談

■その他 県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」募集中。詳しくはホームページをご覧ください。

申込・問合先 やまがたハッピーサポートセンター (☎023-687-1972)へ

労働基準監督官採用試験

■受験資格 平成7年4月2日から平成16年4月1日生まれのかた及び平成16年4月2日以降に生まれたかたで次のいずれかに該当するかた

①大学を卒業したかた及び令和8年3月までに卒業見込みのかた

②人事院が①と同等の資格があると認めるかた

採用予定者数

労働基準監督A(法文系) 約150人
労働基準監督B(理工系) 約40人

インターネット申込期限

3月24日(月)まで(受信有効)

※インターネット申込専用アドレスからお申込ください。

■試験日 第1次試験 5月25日(日)／第2次試験 7月8日(火)～11日(金)

■問合先 山形労働局総務部総務課人事係 (☎023-624-8221)へ

やまがた被害者支援センター養成講座(初・中級編)受講生募集

「人の役に立ちたい」、「被害者支援について学びたい」というかたを歓迎します。

■募集人数 約10人(25歳以上の心身ともに健康なかた)

■募集期間 3月14日(金)～5月16日(金)

■研修日程 全10回(6月11日(水)～10月22日(水)の原則毎月第2・4水曜日 10時～15時)

■研修内容 センターの活動内容や被害者の心理など被害者支援のための基礎的知識の習得(受講料無料)

■申込・問合先 公益社団法人やまがた被害者支援センター (☎023-642-3571)へ

第10回YAMAGATA夢婚

山形ウエディング協議会では、何らかの理由があつて結婚式を挙げたくてもできなかったカップルに式を挙げたい想いや理由を募集し、結婚式をプレゼントいたします。

山形ウエディング協議会では、何らかの理由があつて結婚式を挙げたくてもできなかったカップルに式を挙げたい想いや理由を募集し、結婚式をプレゼントいたします。

■対象者 県内在住の結婚式を挙げていないカップル

■応募条件 取材対応や広報活動（写真掲載等）への情報提供にご承諾いただけるかつ令和7年12月31日まで結婚式を挙げていただけるかた

■応募期限

第1次締切 4月30日(水)
第2次締切 5月31日(土)

■応募方法 山形ウエディング協議会ホームページ
をご確認ください。



■問合先 【置賜地区窓口】グランドホクヨウ（☎0238-122-1238）へ

令和8年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領について

宮内庁より、令和8年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領が発表されました。

■令和8年歌会始のお題は「明」と定められました。

※お題は「明（めい）」ですが、歌に詠む場合は「明」の文字が詠み込まれていればよく、「鮮明」、「文明」、「明星」のような熟語にしても、また「明るい」のように訓読

しても差し支えありません。
■その他 詠進歌の詠進要領等の詳細は宮内庁のホームページをご覧ください。



電磁石銃の無償引取りについて

銃砲刀剣類所持等取締法の改正に伴い、電磁石銃が所持禁止の対象となります。警察では危害予防上の観点から、電磁石銃の無償引取りを実施しています。電磁石銃を所持しているかたは令和7年8月31日までに手放すか、8月29日までに所持許可を申請しなければなりません。電磁石銃の引取りを希望するかたは、所轄警察署に連絡してください。

■問合先 小国警察署刑事生活安全課（☎62-0110）へ

借金返済に関する相談窓口のご案内

■受付時間 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
8時30分～16時

■相談・問合先 山形財務事務所理財課（☎023-641-5201）へ

総合センター図書から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇カフネ	阿部 暁子
◇ゆびさきに魔法	三浦 しをん
◇トランパー	今野 敏
◇おとこ川をんな川	唯川 恵
◇「バナナ腰」を治せば、	とも 先生
体の不調が消える！	

第11回マタギの里小玉川雪まつり
雪の中の大冒険

◎日時 3月8日(土)（前夜祭） 17:30～19:00
3月9日(日) 10:00～15:00
◎会場 旧小玉川小中学校グラウンド
◎入場料 前夜祭：無料／当日：100円（小学生以上）
（スノーモービル体験は3回券500円）
■問合先 小玉川青年団イチコロ（☎090-5839-8623／080-3158-6686）へ

広告

2025年リフォーム補助金

リフォーム&リノベーションのご相談はウンノハウスへ

エコキュート
補助金
最大
13万円

電気温水器
からの交換は
最大
4万円

さらに 補助金 最大
蓄熱暖房機
の撤去で
16万円

断熱改修
エコ設備

補助金
最大
60万円

内窓

補助金
最大
200万円

ウンノハウス

☎0120-31-5091

株式会社ウンノハウス ▼WEB予約

【米沢ショールーム】
米沢市金池5丁目3-2
営業時間／9:00-18:00
定休日／火曜日・水曜日



求 人 情 報

右の表は2月14日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
 ※町ホームページに求人情報を掲載しています。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
日本テクノ 株式会社	電気主任技術者／高畠町／川西町／小国町（契約）	3人	9:00～18:00
アクサ生命保険株式会社 米沢営業所	【小国町】商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15～17:00他
株式会社 白い森調剤薬局	薬剤師	2人	9:00～18:00
クアーズテック合同会社 小国事業所	購買担当	1人	フレックスタイム制 8:20～17:10
	加工機械オペレーター	1人	8:20～17:10
	研磨オペレーター	1人	交替制（シフト制） 8:20～16:50他
	MCオペレーター／経験不問	1人	交替制（シフト制） 8:20～16:50他
	検査オペレーター／経験不問	1人	交替制（シフト制） 8:20～16:50他
山和建設 株式会社	二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	3人	変形労働時間制 8:00～17:00
	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	変形労働時間制 8:00～17:00
	一般事務員	1人	7:45～17:00
	ガソリンスタンド業務【急募】	1人	7:00～19:00の間の3時間以上
株式会社 ビーネックステクノロジー 仙台オフィス	半導体部材製造ラインにおける生産技術業務	1人	8:20～17:10
株式会社 山形銀行	銀行業務（事務・窓口：小国町内店舗）	1人	8:30～17:00
	銀行業務（事務・窓口：小国町内店舗）	1人	8:30～17:00の間の5時間
小国開発 株式会社	建設ディレクター	3人	8:00～17:00
長谷川工業 株式会社 小国工場	加工スタッフ（NC施盤）	1人	8:15～17:15
	加工スタッフ（マシニング）	1人	8:15～17:15他
株式会社 山芳工務店	電気設備工（見習い）	3人	9:00～18:00
(事業所の意向により公開していません)	電気通信施工管理【西置賜郡小国町】	1人	8:30～17:30
ひさご電材 株式会社	電線加工・検査／山形県西置賜郡	1人	変形労働時間制 8:30～17:30
荒川興業 株式会社	(請) 製造加工【アークカーボン加工】正社員	1人	8:20～17:10
株式会社 小国自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:00～17:00
特別養護老人ホーム さいわい荘 (社会福祉法人 小国福祉会)	(臨) 食器洗浄パート（未経験者応募可・事前見学可）	1人	交替制（シフト制） 7:00～10:00他
	入浴介助パート（未経験者応募可・事前見学可）	1人	9:15～13:15

今月の納税 2025.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 3月26日(水)

水道料、下水道料、簡易水道料

● 3月31日(月)

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先 税務課税政管理室
 (62-2403) へ

東日本大震災復興祈念事業

追悼・復興・再生 東日本大震災の教訓を！ これからの未来に向けて！
 ～14年前の震災を語り継ぎ、災害にどう備え、どう向き合うか？～

■日時 3月11日(火) 11:00～18:00

■場所 置賜総合文化センター（米沢市）

■内容 献花、黙とう（14:46）、俊風亭太平楽独演会、山形県警察音楽隊演奏、東日本大震災写真展、防災用品展示、まちの保健室（健康相談、血圧・握力測定）、竹あかり

■問合先 置賜総合支庁総務課防災安全室（☎0238-26-6007）へ



戸籍のまど

（ 1 月 届 出 分 ）

結婚おめでとうございます。

（ 北 後 藤 正 志
中 国 徐 敏 静 ）

おくやみ申し上げます。

兵 庫 舘	舟	山	邦	實	(77)
尻 無 沢	仁	科	清	實	(98)
小国小坂町	高	橋	睦	男	(64)
綱木箱口	井	上	雄	一	(73)
片 貝	佐	藤	秀	一	(76)
小国小坂町	三	須	米	子	(97)
幸 町	梅	津	幸	子	(88)
古 田	安	達	昭	一	(87)
足 野 水	佐	藤	二	男	(79)
北	佐	藤	禎	男	(94)
栄 町	菅	福	男	(85)	
宮 の 台	遠	藤	宣	子	(89)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和7年1月31日現在）

人口	男	・	・	・	3,288人	（－ 12）
	女	・	・	・	3,230人	（－ 7）
	計	・	・	・	6,518人	（－ 19）
世帯数					2,928世帯	（－ 7）

編集後記

今年、冬は雪が多く、昨年中止が多くなり、白の森ウィンタースポーツ大会は6年ぶりの開催となり、以前参加した際のことを思い出しながら、こんな感じだったなと感慨深くなりました。3月に入り、気温が高くなる日も多くなり、除雪作業や雪下ろしを行う際は、安全に十分注意してください。（阿部）

3月のスポーツイベント 動いて健康サプリ「ストレッチポール」



- 日 時 3月22日(土) 10:00～11:00
- 場 所 小国町民総合体育館
- 対象者 どなたでも
- 参加費 500円～750円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、タオル、飲み物など
※ストレッチポールをお持ちのかたはご持参ください。お持ちでないかたは無料でお貸しします。
- 申込締切 3月19日(水)

■申込・問合先
（☎62-5808）へ

特定非営利活動法人

おくにYui
スポーツクラブ

子育て支援センターから

■3月の広場日程

	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:00～11:30・13:00～16:00 場所：子育て支援センター 3/6、12、25は健康管理センターで実施します。	不要
おしゃべりカフェ	3/13(木)	14:00～16:00・子育て支援センター	要

■3/8(土)に「あそびの広場」を実施します。

時間：9:00～11:30・13:00～16:00

場所：健康管理センター（申込不要）

- 対象者 就学前のお子さんとお家のかた
- 利用時の注意点 体調の悪い場合は、利用できません。
- その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。
- 問合先 子育て支援センター（☎090-9015-8330）へ

保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4カ月児健診

- ・期 日 3月7日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 令和6年10月、11月生まれ

■9・10カ月児健診

- ・期 日 3月7日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 令和6年4月、5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター（☎61-1000）へ



新町70周年記念

写真で振り返る 白い森の国おぐに No.10



⑩木出しの様子（昭和35年3月）

木材が主な燃料であった昭和30年代頃は、切り出した木材をソリに載せ、残雪の上を滑らせて運ぶ「木出し」がどの地域でも行われていました。切り出した木材は、集落の各家庭に分配し、次の冬を暖かく過ごすための燃料になりました。

川沿いの地域では、切り出した木材を夏頃まで保管し、川や用水路に流して各家庭に運ぶこともあったそうです。

木材が燃料として使われなくなるにつれ、大勢で木を切り出して運ぶ光景は見られなくなりました。